

へいわ ふくし 平和で福祉のまちづくりへ



日頃より、ふるしょう和秀にご支援を頂き、ありがとうございます。古庄の真摯な態度と実行力で、多くの市民たちと交流を深め、理解を得ています。今後も

政治への姿勢とその道を一步一步と進めても、りたいと思います。「古庄和秀とやさしさ市民ネットワーク」は、ふるしょう和秀を支え、全力をつくす気持ちです。今後も、熱い、熱いご支援をお願い申し上げます。ふるしょう和秀後援会会長 杉野 悦郎

7月から有料指定ごみ袋が値上げされます

7月から以下のように値上げされます。

- 7月からの料金【家庭用（燃えるごみ・燃えないごみ兼用）】

※10あたり1円→1.2円に値上げ

大 (40ℓ)	480円/10枚
中 (28ℓ)	336円/10枚
小 (18ℓ)	216円/10枚
特小 (10ℓ)	120円/10枚



【事業所用（燃えるごみ）】

大 (40ℓ)	768円/10枚
---------	----------

【事業所用（燃えるごみ・燃えないごみ兼用）】

小 (20ℓ)	384円/10枚
---------	----------

【大型ごみシール】

420円/1枚

【臨時ごみ収集運搬手数料】

2トン積載車1台につき	2,200円
-------------	--------

【自己搬入ごみ処分手数料】

10 kg につき	220円
-----------	------



2. 議会への説明のポイント

(1) ごみを減らすことをすすめる

燃えるごみとして出していた紙やプラスチック製容器包装、食品ロスを減らし、一回り小さなごみ袋へ切り替えることをすすめる。ゴミを減らすことをすすめる。

(2) ごみ袋を一回り小さく見直し

家庭ごみのうち、ペットボトル及び白色トレイを除く「プラスチック製容器包装」は、燃えるごみに含まれる割合が容積比率40%程度といわれており、10月から分別収集を開始したことにより、減っていく。ほかに紙などのリサイクルにより、燃えるごみを30%減らすことを目指す。一回り小さなごみ袋へ切り替えることをすすめる、ごみを減らすことをすすめる。

(3) 値上げの考え方

- ごみ袋を一回り小さく
- ごみ処理費用の一定割合を市民に負担頂く。

3. 古庄は以下のように要望し、ごみ処理費用の一定割合を市民に負担頂くことには理解できるため賛成しました。

- コロナ禍で、多くの市民が経済的にも厳しいこの時期の値上げなので、
- 今回、10枚当たり1円単位の値上げもあり、わかりにくい面もあるので、7月の値上げまでに市民の皆様十分に理解されるよう説明してください。

さらに、一般質問では、世界的な気候変動と本市における脱炭素社会の実現について質問し、ごみ袋値上げにより、市民負担もおかけするならば、エコタウンのまち大牟田として、関市長のリーダーシップにより、本市独自の脱炭素社会の実現に向けた取り組みの必要性を提言し、力強いご答弁がありました。

ふるしょう和秀とやさしさ市民ネットワーク

でんわ：090-2517-4005
ファックス：0944-85-0028
furusho_net@hotmail.com

【第1部：議会報告編】やさしさつなぐホットニュース

住 所：〒836-0041福岡県大牟田市新栄町17-47
フェイスブック：<https://www.facebook.com/furusho.net>
LINE-ID furusho_net

2022年新年号
通巻第69号



12月13日の一般質問

新年にあたり皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます

豪雨被災者をはじめ様々な相談に全力で対応します
子育て世帯への臨時特別給付を現金（10万円）で一括支給
7月より有料指定ごみ袋の大きさが変わり、値上げされます
4月より知的・精神の短時間勤務職員を採用へ

ここ数年を振り返りますと、新年を喜ぶ状況ではありません。一昨年より猛威を振った新型コロナウイルス感染症は、市内では落ち着いているものの、まだ安心できません。感染と発症予防のため3回目のワクチン接種も始まりました。一人ひとりの判断で接種されるとともに、接種しない、できない方への差別などがないようにしなければなりません。また、コロナ禍で、学校、家庭、職場、お店など、私たちの暮らし方も変わってきました。議会でもオンライン授業の必要性などを提言し、必要な予算も可決しました。コロナ禍、2年続けての豪雨で、経営的に厳しい市内の会社やお店も多くあります。十分ではないものの、今後も必要な支援策を提言していきます。

12月6～17日、12月議会があり、一般質問に立ち、情報化社会や災害からの復旧復興、共生社会について質問し、4月より知的・精神の短時間勤務職員を採用するなどの前向きな答えて頂きました。また、議会中に子育て世帯への臨時特別給付を現金（10万円）で一括支給されることが決定しました。国の議論が二転三転し

ましたが、「市民の多くが現金を望んでるので早く支給すべき」との関市長の判断には敬意を表します。一方で、ゴミ袋などの値上げが提案されました。「小さい袋への切り替えを促し、ごみ減量を推進する」目的はある程度は理解しますが、コロナ禍で市民生活が大変厳しいこの時期の値上げであることと、10枚入りで336円、216円など1円単位の設定になったことから7月の値上げまでの期間に丁寧な市民説明を強く要望し、賛成・可決しました。

少しずつ講演依頼も来ています。できる限りご要望にお応えしていくつもりです。コロナウイルス感染症が収束し、災害が少ない穏やかな1年であることを心より願っています。また、災害からの復旧・復興に向けてできることを提案していきます。日頃からの皆様のご支援、御協力に感謝申し上げますとともに、なお一層の力強いご指導、ご支援をよろしく願います。



2022年1月大牟田市議会議員 古庄和秀

公職選挙法により、年賀状は手書きしか出せません。このニュースで新年のご挨拶とします



12月議会で決まった補正予算 総額 10億1745万円

コロナ対策 3億3835万円

1. ワクチン接種の着実な実施と自宅療養者等への支援 1億9190万円

(1) 3回目ワクチン接種の実施 1億8672万円

(2) 自宅療養者等への支援 518万円

自宅療養者及び濃厚接触者等に対し、食糧、日用品等を支援する。また、パルスオキシメーターを貸し出す。

2. 事業者支援 1780万円

※国及び県の月次支援金への上乗せ支援は、10月まで継続して対応

(1) 保育所・学童保育所等における感染症対策に対する支援 1380万円

保育所等・学童保育所等へのマスク等の感染防止用品の備品購入に対する支援を行う(対象:保育所等22施設、学童保育所等22箇所、天領保育所)

(2) ICTを活用したスマート農業設備の導入に対する支援 300万円

ICT等を活用したスマート農業の更なる普及を促すとともに、既に導入している農業者の生産性向上のため、ドローン基地局の設置に対する支援を行う

(3) 市内物産事業者への支援 100万円

コロナ禍において売上減少等の影響を受けている市内物産事業者への支援として、成人式にて新成人(700人)にお菓子等の詰め合わせを贈呈し、市内特産品のPRを行う

3. 学校における児童・生徒の学習環境等の充実と感染対策 8670万円

(1) 体育館における授業・発表会等に必要設備の充実 1300万円

3密回避等のために、体育館で授業や研修会・発表会等を行う際に必要なプロジェクターやスクリーン(小学校18校、中学校9校、特別支援学校1校、教育研究所1ヶ所に各1セット)を整備する

(2) 学校図書館の充実 241万円

新たな生活様式による読書環境や学習環境の変化に伴う児童・生徒の多様なニーズに対応でき

るよう、学校図書館の蔵書を充実させる

(3) 学校給食調理における衛生管理及び感染防止に係る設備の充実 6330万円

学校給食調理室の衛生管理及び感染防止をより徹底するために、小学校及び特別支援学校に真空冷却機(小学校19台、特別支援学校1台)を導入するとともに手洗い施設を充実する

4. 新しい生活様式に対応する市民サービスの向上 5559万円

(1) おくやみコーナーの設置 550万円

多岐にわたる死亡に関連する手続きをワンストップで案内する窓口(おくやみコーナー)を設置し、来庁者の手続きに要する手間や時間的負担を軽減する。

(2) 電子図書館の導入 3330万円

読書活動の推進や市民の学習支援のため、図書館に来館しなくてもパソコンやスマートフォンから電子書籍を借りることが可能となる電子図書館を導入する 導入冊数:約8,000冊

(3) 文化会館におけるオンライン配信等設備の充実 961万円

文化会館に映像配信設備(高輝度プロジェクター)を導入し、密を避けるための分散開催やオンラインでのライブ配信等に対応する環境整備を行う(大・小ホール各1台)

(4) 安心な公園利用の推進 500万円

ひとひととの距離を比較的取りやすい公園において、除草や清掃、花植え等の美化活動を行う環境を充実させることで、ボランティア(公園愛護会等)の活動を支援する。また、より安心して公園を利用できる環境を整えるため、抗ウイルス加工ベンチを設置する(30基程度)

5. 公共施設等における感染対策等 5791万円

(1) 市民窓口混雑防止対策 394万円

複数の窓口を備える国民健康保険の窓口にて、窓口毎の呼出し番号表示器を設置するなどして、窓口の混雑緩和を図る

(2) 市役所駐車券発行における感染対策600万円

繰返し使用している駐車サービス券を利用者へ交付する方式から、サービス券を交付せず駐車券(入庫時発券)に対して無料化処理する方式(認証機62台)へ変更する

(3) 消防団への安全装備等の整備 1700万円

消防団の安全安心な活動のために、感染防止にも寄与する防火服と防火帽(264セット)を導入するとともに、感染対策に必要な消耗品等を購入する

(4) 公式LINE登録者増加に向けた取組300万円

感染状況や感染防止対策等に係る情報をタイムリーに届けることができる公式LINEの登録者数増加を図るため、期間限定の登録キャンペーンを行う

さいがい 災害からの復旧・復興と防災力の強化

1. 災害復旧・復興 2億5593万円

(1) 令和3年8月の大雨による農業用施設、がけ地等の復旧支援 2116万円

令和3年8月の大雨により被災した農家の農地や農業用施設等及びがけ地(国・県の支援の対象外)の復旧支援等を行う(農業用機械1件、農業用施設1件、大豆農家営農継続支援

1,703a、果樹園4件、水田1件、がけ地5件)

(2) 令和2年7月豪雨による公共土木・農業用施設等の復旧の継続 2億4110万円

令和2年7月豪雨により被災した公共土木施設、農業用施設等の復旧を継続して行う(里道3か所、ため池1か所、水路26か所、河川1か所)※令和3年度から令和4年度にかけて実施予定分

2. 防災力の強化 3億1526万円

(1) ため池の改修 5000万円

歴木地区の老朽化したため池(小野堤・三田堤)について、防災調整池として活用するため、実施設計等を行う

(2) 道路の冠水対策 2億3392万円

新開町及び健老町地区の道路冠水被害の軽減のため、道路排水施設を改良する。また、冠水被害が顕著な道路に冠水監視カメラ等(6台)を設置する

(3) 手鎌野間川の河川改良に向けた調査 2000万円

浸水対策のため、手鎌野間川の河川改良に向けた調査設計業務委託を行う

その他 1億791万円

東部環境センター整備 5600万円

清掃自動車購入 3220万円

国県支出金返還金 2174万円

予備費の減 4400万円 等

その他、12月議会で決まったこと

1. 学童保育所、サンアビ、文化会館などの指定管理者が決まりました。

2. 令和3年度子育て世帯への臨時特別給付については、小中学生は12月24日に10万円現金で振り込まれました。保護者が公務員の方や高校生などは年末に郵送された申請書で申請してください。

11月の臨時議会で決まったこと

人事院勧告による職員、議員の賞与の見直し

常任委員会の簡単なお報告

市では宿泊先のアンケートを実施したところ、おおむたし市に用事がある人の内、毎日100人前後が、柳川市、荒尾市、南関町などのホテルに宿泊している

ことがわかりました。そこで、ホテル等を新築、増築する事業者に向けた助成金を作るための具体的な検討が始まりました。

ホットニュースを読んで頂ける方にはお届けします。お気軽にご連絡ください。